

# NTカチオンタイトF

【改訂第4版】

## 特長

- 1 カチオン性SBRラテックス系セメントモルタルのため、様々な建築材料の下地に対して高い接着性を示します。
- 2 硬化液で作業に適した粘度に調整でき、爆裂や欠損、凹凸の補修などのコテ作業性に優れます。
- 3 幅広い材料適性があるため、NTカチオンタイトFの上には、さまざまな材料を使用できます。  
※強溶剤を使用すると軟化する場合があります。

## 用途 (下地条件)

部位	分類	適用下地
壁	躯体等	コンクリート、モルタル、ALC、PCコンクリート
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板
	塗り仕上げ材	アクリル樹脂系仕上げ材、アクリルウレタン樹脂系仕上げ材、リシン(無機系は下地強化が必要)
	貼り仕上げ材	磁器タイル、テラゾータイル、クリンカータイル
	爆裂・欠損	コンクリート
床	躯体等	コンクリート、モルタル
	貼り仕上げ材	磁器タイル、テラゾータイル、クリンカータイル
屋上	防水保護層	シンダーコンクリート、保護モルタル
プール	躯体等	コンクリート、モルタル ※既存塗膜は撤去が必要

### ●使用方法

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	施工間隔 (23℃)
素地調整	●レイタンスや脆弱部分は、サンディングなどで除去してください。 ●ゴミ、ホコリ、泥などを完全に除去し、油脂類は、溶剤で清掃してください。 ●素地にクラックがある場合は、あらかじめ処理を行ってください。				
下地処理	NTカチオンタイトF ●パウダー……………16kg ●硬化液…………… 3.5~4kg	●金ゴテ	1時間以内	1.7 (1mm厚)	24時間以上 72時間以内

- セットされた缶の中から硬化液を取り出し、3.5kg程度をパウダーに加え、ハンドミキサーで均一に混練してください。さらに、若干の硬化液を加えて作業に適した粘度に調整を行ってください。硬化液を一度に全量加えると、粘度が低くなりすぎる場合があります。
- 混練した材料の可使用時間は、夏期1時間、冬期2時間以内です。

### ●施工上の注意

- 水は絶対に使用しないでください。
- 吸水のある下地(コンクリート、モルタル、ALCなど)は、NT吸水調整剤の塗布、または、水打ちを行ってください。
- 塗厚は1mm~5mmとしてください。塗厚が薄い場合、強度不足になります。コテによるもみ過ぎに注意し、塗り重ねる場合は、5時間以上経過した後としてください。
- 0℃以下での使用は凍結の恐れがあります。使用しないでください。
- 硬質厚膜塗り床材、MMA系塗り床材、ビニルエステル系塗り床材の下地処理材としては使用できません。

## 荷姿

- NTカチオンタイトF ……20kg (パウダー16kg、硬化液 4kg)
- NT吸水調整剤……………18kg

## 塗布面積

- 12m<sup>2</sup>(1.7kg/1mm厚の場合)
- 養生期間: ●屋上施工1mm厚……………1日以上  
●屋上施工3mm厚……………3日以上  
●プール施工1mm厚……………3日以上

## 性能 付着性能(2mm厚)

下地	付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )
コンクリート	1.9
スレート板	1.8
押出し成型セメント板	1.5
磁器タイル	1.9
アクリル樹脂系仕上げ材	1.4
エポキシ樹脂系仕上げ材	1.9
アクリルウレタン樹脂系仕上げ材	1.5
Pタイル接着剤(酢酸ビニール系:50%除去)	1.7

## 試験成績

試験項目	規格	試験成績
付着強さ	標準時 1.0N/mm <sup>2</sup> 以上(JIS A 6916)	1.6
	低温時 0.7N/mm <sup>2</sup> 以上(JIS A 6916)	1.1
耐ひび割れ性	ひび割れが発生しないこと。(JIS A 6916)	合格
耐衝撃性	割れ及び剥がれがないこと。(JIS A 6916)	合格
吸水量	1.0g以下(JIS A 6916)	0.8

# NT吸水調整剤

## 特長

- ①コンクリートやモルタルなど、吸水の多い下地に塗布することで接着力を安定させ、ピンホール抑制に効果があります。
- ②耐水性、耐アルカリ性に優れ、安定した付着力が長期間持続します。
- ③水性タイプのため、安全に作業ができます。

## 適応下地

- コンクリート、モルタル、ALC、コンクリートブロックなど

## 標準仕様

工程	材料の調合(重量比)	塗り回数	施工方法	使用量	1缶当たりの塗り面積	施工間隔
素地調整	●下地のぜい弱部、レイトンス、エフロ、油分、汚れなどは、事前に適切な方法で取り除いてください。					
吸水調整	●NT吸水調整剤……18kg ●水……72kg	1~2回	●ローラー ●自在刷毛 ●スプレー	0.2 kg/m <sup>2</sup>	450 m <sup>2</sup> /缶	1時間以上(23℃)
不陸調整	●各種セメント系下地調整材					

※下地の状態により吸い込みが激しい場合は、吸水調整が2回になる場合があります。

## 注意事項

### ■施工上の注意事項

- 5℃以上、35℃以下で施工後、12時間以内に降雨や降雪、降霜の恐れがある場合は、施工を避けてください。また、強風下、高温下、低温下施工後0℃近くになる場合(夜間凍結)は、施工しないでください。
- 可使用時間(夏期1時間以内、冬期2時間以内)を過ぎた材料は使用しないでください。また、可使用時間内であれば、硬化液を加えて調整することは可能です。
- 下地表面のレイトンス、塵埃、油脂等は、ケレンおよび水洗により除去してください。
- 脆弱な無機質下地の場合は、浸透プライマーなどで下地強化してください。
- 補修の際は、下地が躯体に対して十分な接着力があるか確認してください。十分な接着力がない場合はケレンしてください。
- 下地に撥水剤が塗布してある場合は、接着しません。また、ワックス類が塗ってある仕上げ材の場合、ワックスクリーナー等で洗い落としてから施工してください。
- ポリエステル、FRP、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、軟質塩ビ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂仕上剤などには接着できません。
- 頻繁に車両が走行する駐車場等への下地補修には推奨しません。
- 平滑面に塗り付ける場合は、一度、しごき塗りしてから追っかけて所定の厚さに塗り付けてください。

- 部分補修した場合、その部分の仕上材の吸い込みが補修部意外と異なり仕上材のムラの原因となります。仕上材にて調整してください。
- NTカチオンタイプFを施工後、モルタル、磁器タイル等の重量物による仕上の場合、工程間隔を36時間以上とし、NTカチオンタイプFが十分に硬化後としてください。
- 下地が多少湿っていても施工できますが、濡れている場合は拭き取ってから施工してください。
- パウダーは水硬化性ですから、保管には十分に注意し、地面に長い間放置したり、雨に当てたりすることは避けてください。また、長期にわたる在庫も避けてください。
- セットされた材料以外のものは混入しないでください。
- 取り扱以上の注意事項
- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じてマスク、手袋および保護メガネなどの保護具を着用してください。肌と直接触れないようにご注意ください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取ってください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。

- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 本製品は化学物質を含んでいますので、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。また、塗装後は、充分に乾燥させ、換気した後にご使用ください。
- 保管は必ずフタをし、0℃以下、降雨や夜露、直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 本製品をお取り扱いの場合は、労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行ってください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適切に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル及び安全データシート(SDS)をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

- 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
- 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
- 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
- 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
- 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
- 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

NTCTF-0323OD-[S]#4[2023年3月作成]